

はじめに

奈良市は、1300年前、わが国の首都として平城京が開かれ、絢爛たる天平文化を生み出した日本文化発祥の地であり、また古代文化の中心地として栄え、今日まで先人たちの努力により、連綿と日本民族の文化遺産と自然環境を守り伝え、「心のふるさと」として日本国民に親しまれてまいりました。

そして、その中の8資産群が平成10年「古都奈良の文化財」として世界遺産に登録されました。

これからも、これらと一体となった豊かな文化遺産と良好な環境を守り、育てるために市民、事業者、観光客等及び市が協力して保全し、将来に引き継いでいかなければなりません。

しかし私たちの身の回りを見ると、豊かさと快適さを追い求め、大量消費、大量廃棄している私たち一人ひとりの日常生活、及びこれを維持するための企業活動に起因して、地球温暖化の進行を始め、地球環境が悪化しています。

二十一世紀は、「環境の世紀」と言われますが、今日の環境問題を解決するためには、私たち自身の生活様式を環境にやさしいものに見直す必要があります。

本市では、平成15年度から地球温暖化対策庁内実行計画を作成し、「紙の使用量の5%削減」、「昼休み時間の必要箇所除く消灯」等を実践しているところであり、持続的発展可能な環境にやさしい社会を、本市の自然豊かな環境を活かしながら市民の皆様と共に進めてまいりたいと思います。

また、本年4月奈良市、月ヶ瀬村、都祁村が合併し新奈良市となり、両地域を含めた一体性を確保した環境保全に努めてまいります。

本書は、本市の環境の保全と創造に関する施策についてまとめたものです。皆様の環境問題への取り組みや環境保全活動の一助になれば幸いです。

平成17年11月

奈良市長 藤原 昭